

2024 年度事業報告

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)



公益財団法人 九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

2024 年度事業報告について

事業報告

定款第 5 条に基づき、2024 年度は以下の事業を実施した。（総括）

1. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ③幹事会からの提案による自主研究 ⑤その他の事業 ②月報等定期刊行物の発行 ④地域経済情報のデジタル配信 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成事業 (4) おでかけウォッチャー事業
2. 講演会・セミナー事業 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②アジア経済講演会 ③調査技法セミナー (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①ビズコリトーク ③共催セミナー ⑤サイエンス・カフェ ②地域経営セミナー ④九州国立博物館応援セミナー ⑥ビッグデータセミナー
3. 経済図書館（BIZCOLI）事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 講演会・セミナー会場の運営 (3) 個室空間の提供
4. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザインスクールの事務局
5. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入
6. 会務運営 (1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催 (2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化 (3) 会員維持・拡大

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」でレポートを作成・発表するとともに、Web サイトを通じて「④地域経済のデジタル配信」に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は 1967 年の刊行以来、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。2024 年度は、「事業継承から描く九州の未来～適切な新陳代謝による生産性革命への挑戦～」をテーマに掲げた。

マクロデータを用いた分析においては、特に中小企業で深刻化する事業承継の問題に焦点を当て、後継者不在企業の現状や、その廃業がもたらす影響を推計した。また事業承継や M&A された企業内部で起きている変化や、それに対する従業員の評価について独自のアンケート調査を実施して実態を明らかにした。

さらに、事業承継や M&A を契機として新たな成長戦略をとる九州および全国の企業事例を紹介し、生産性向上に繋げるためのポイントを整理した。事業承継や M&A を支援する各種機関の取り組みにも着目し、後継者不在という課題をどう乗り越え、九州地域全体の持続的な発展につながるかを提示した。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は、毎月テーマを設定して刊行している。7 月号では「企業経営と気候変動リスクへの対応」を企画し、水害や台風などの被害に見舞われてきた九州において、企業がどのようなリスク管理を行い、またそれを企業価値向上につなげていくかについて紹介した。11 月号では、イノベーション創出の新たな手法である「リビングラボ」について注目し、特集として「新しい意味を生み出すリビングラボ」を企画した。

幹事会からの提案による自主研究と連動して、9 月号では「ナイトタイムエコノミー」、12 月号では「過疎地域における持続可能な企業経営のあり方」をテーマに取り上げた。

3 月上旬に発行した 3 月号では、山陽新幹線全線開通 50 周年を記念し、開通当時（1976 年 6 月）に掲載された経営者による座談会を再掲載した。また、輸送時間の変化や乗車数の変遷、定期発行数などの推移や、開通前と開業後の駅周辺の写真を掲載。開通後の 50 年間で、地域がどのように変化したかを示した。

発行日	内 容
5月号 5月7日 (火) 発行	特 集 ウォーカブルなまちづくり (Report) ウォーカブルなまちづくり ウォーカブルなまちづくりの意義と展開 ウォーカブルなまちづくりの持続可能性：魅力的なまち歩きコース開発の試案 熊本市におけるウォーカブルなまちづくりについて 宿泊稼働指数を活用した能登半島地震に伴う北陸地域の宿泊需要への影響分析 (講演録) 2023年度 アジア経済講演会 韓国経済と九州へのインバウンド (連載) 価値創造の源流 (76) (株)サーモンテック (熊本市)
6月号 6月4日 (火) 発行	特 集 九州の地域研究 (Report) 2023年度 九経調地域研究助成事業 東峰村における新たな地域コミュニティ形成に関する研究 地域情報の発信が若者の地域への愛着と地域就職意思に与える影響と限界 ～北九州地域中心に～ スタートアップ企業の拠点選択における支援機関の役割に関する研究 Fukuoka Growth Next 入居企業・卒業企業を対象として (連載) 九州の産業別就業者数から見た生成 AI の影響 ～総務省「令和2年 国勢調査」の分析を通じた考察～
7月号 7月4日 (木) 発行	特 集 企業経営と気候変動リスクへの対応 (Report) 企業経営と気候変動リスクへの対応 民間企業の気候変動適応 ―気候危機時代のリスクに備える― 企業の気候変動対応による経済価値の創出 ―かんがえる防災の取り組みから― (2023年度 九経調地域研究助成事業レポート) 九州地域を事例とした地域振興の認識相違に関する研究 ―就業前の若者と地域社会の間から読み解く― (2023年度 九経調地域研究助成事業レポート) リテール DX を軸としたまちづくりに関する調査研究 ートライアルによる「リモートワークタウン ムスブ宮若」の取り組みを通して― (2023年度 九経調地域研究助成事業レポート) (連載) シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (6) (株)ロジック・リサーチ (福岡市早良区) 価値創造の源流 (77) 旭建設(株) (日向市)
8月号 8月5日 (月) 発行	特 集 公共交通の新潮流 (Report) 公共交通の新潮流 九州 MaaS プロジェクトの背景と概要 地域公共交通の「リ・デザイン」について 「葉の交通」を支える AI 活用型オンデマンド交通の取り組みと MaaS 連携 クラウドファンディング活用による戦争遺跡の保存 ―筑前町立大刀洗平和記念館の取り組みを事例として― 2024年度九州経済見通し (改訂) 個人消費では所得環境が改善されるも、設備投資が伸び悩む懸念から見通しを 下方修正 (連載) シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (7) (株)マイクロカット (霧島市)

発行日	内 容
9月号 9月4日 (水) 発行	特 集 ナイトタイムエコノミー (Report) ナイトタイムエコノミー 九州における持続可能なナイトタイムエコノミーの推進に向けて ～定着のための6つの視点 事例から見る地域に根づくナイトタイムエコノミー (連載) 価値創造の源流 (78) (株)ヤマナミ麺芸社 (大分市)
10月号 10月4日 (金) 発行	特 集 太陽光発電システムの長期安定電源化に向けた九州の動向 (Report) 太陽光発電システムの長期安定電源化に向けた九州の動向 地域との共生・共創のための太陽光発電所チェックリストの公開、並びに今後の太陽光発電産業の将来動向 既設事業用低圧発電所の管理実態と長期安定電源化実現に必要な対策 ～熊本県を事例として～ 「卒 FIT」を迎えた住宅用太陽光発電システムの回収・廃棄の実態 ～求められる広域処理～ 自立・分散型社会の実現に向けた太陽光発電への期待 (連載) 価値創造の源流 (79) (株)システック (鹿児島市)
11月号 10月31日 (木) 発行	特 集 新しい意味を生み出すリビングラボ (Report) 新しい意味を生み出すリビングラボ リビングラボと社会課題解決に向けた可能性 先行事例にみるリビングラボの姿 「大牟田リビングラボ」の5年間をふりかえる (連載) 価値創造の源流 (80) 八田・山本宇宙推進機製作所(株) (春日市)
12月号 12月5日 (木) 発行	特 集 過疎地域における持続可能な企業経営のあり方 (Report) 過疎地域の持続可能な企業経営のあり方 過疎地域での成長と地域課題解決を両立する企業の特徴 (連載) シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (8) 日清紡マイクロデバイス福岡(株) (福岡市) 日清紡マイクロデバイス AT(株) (佐賀県吉野ヶ里町)
1月号 1月9日 (木) 発行	特 集 九州の新たな1年 (Report) 九州の新たな一年 「おでかけウォッチャー」でみるナイトタイムエコノミー (講演録) 2023 半導体の地政学～新しい国際秩序と九州の戦略 (連載) 九州の経済を読み解く (5) 国際環境と技術環境の変化で読み解く 九州経済の可能性～平和の配当の消滅とデジタル化の新展開～ シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (9) (株)SUMCO 九州事業所 (佐賀県) 価値創造の源流 (81) (株)教育情報サービス (宮崎市)
2月号 2月6日 (木) 発行	特 集 九州の地域経済分析 (Report) 2025年度九州経済見通し 民間消費の回復と鉱工業生産への設備投資効果が寄与し成長率が上昇 九州における半導体関連設備投資による経済波及効果の更新 ～Q-BASS との連携による地場企業の取組の反映～ ひなたフェス 2024 の九州における経済波及効果について
3月号 3月10日 (月) 発行	特 集 山陽新幹線全線開通 50 周年 (Report) 山陽新幹線 データで見る 50 年の歩みと今後の展望 座談会 新幹線時代の九州経済を巡って 九州経済統計月報 1976 年 6 月号より Photo Library 写真で見る九州・山口の山陽新幹線駅 (連載) 価値創造の源流 (82) (株)INSPIRATION PLUS (大分市)

発行日	内 容
4月号 4月7日 (月) 発行	特 集 九州の森林利用 (Report) 九州の森林利用 九州地域の持続可能な森林利用のために 九州における森林利用産業の先行事例 ～持続可能な森林およびサプライチェーン管理の観点から～シンポジウム 社会を変える 地域を動かす「社会起業家の芽吹く九州」に向けて 九州における森林利用産業の先行事例 ～持続可能な森林およびサプライチェーン管理の観点から～

2) 2025 年版 図説九州経済

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで判りやすく解説するもので、毎年 1 回刊行している。2025 年版は、労働力・雇用形態に関する章を追加するなど、コンテンツの見直しとともに、九州地域経済分析プラットフォーム「DATASALAD」と連動した一体的なデータ提供を行った。

『2025 年版 図説九州経済』 11 月刊行

3) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月 2 回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、当会の刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 262 件 （2024 年 4 月 1 日（月）～2025 年 3 月 31 日（月））

③幹事会からの提案による自主研究

2024 年度のテーマは、夜間の観光消費に焦点を当てた「ナイトタイムエコノミー」と、地域企業の事業拡大と地域活性化の成功メカニズムを探る「中小都市・過疎地域の地域経営」の 2 本である。九州経済調査月報 9 月号の特集「ナイトタイムエコノミー」では、ナイトタイムエコノミーを持続的に成功させる方策について主として地域の視点から明らかにした。12 月号では、「過疎地域における持続可能な企業経営のあり方」について特集を組み、具体的な成功事例を紹介しつつ、地域活性化のメカニズムを提示した。研究内容については、BIZCOLI で開催するセミナー「ビズコリトーク」にて報告を行った。

ナイトタイムエコノミー

九州経済調査月報 9 月号

過疎地域における持続可能な企業経営のあり方

九州経済調査月報 12 月号

④地域経済情報のデジタル配信

創立 70 周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム「DATASALAD」において、地域経済情報のデジタル配信を実施している。

2024 年度は掲載コンテンツの時系列表示の改善、ヘッドラインの更新頻度の増大など操作性改善・利便性向上に取り組んだ。また、賛助会員の利用促進に向けて、BIZCOLI でのオンラインセミナー「ビジネスはもっと楽になる！ 地域経済データ^秘活用法 2024」を 6 月・10 月に開催した他、個別企業向けの説明会・講習会を実施した。

なお、DATASALAD の延べアクセスユーザー数は 4.8 万ユーザー、2024 年度の延べアクセス数は約 381 万件であった。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部、九州主要企業幹部等との意見交換会などを行っている。

1) 国内研究会の開催、参加

A. 九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議

1967 年度より毎年 2 回、九州・沖縄の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。

日 程	会 議 名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7 月 18 日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（宮崎）	福岡市流入者・流出者の実像・実態	片山部長 (講演)	12 人
12 月 5 日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（佐賀）	住宅（不動産）価格の変化と都市圏構造の再変化～福岡市ベッドタウンの第一世代・宗像市からの視点で	片山部長 (講演)	12 人

【加盟機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	(株)りゅうぎん総合研究所
(株)ちくぎん地域経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(株)おきぎん経済研究所
(株)佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	(株)長崎経済研究所
(株)九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会	

B. 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、第 37 回地方シンクタンクフォーラム（12 月 6 日（木）：大阪市）に出席した。また、九州・沖縄ブロックでの活動では、2 月 4 日（火）に開催された情報交換会&勉強会に参加した。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	(株)よかネット	(公財)九州経済調査協会
----------------	----------	--------------

2) 国際会議の開催、参加

日 程	会 議 名	テーマ	講師・参加者	参加者数
10月19日 (土)	第17回福岡・釜山フォーラム福岡会議 2024	日韓国交正常化 60 周年ーより安定的かつ持続可能な両国関係の構築のための日韓海峡圏からの提言	縄田理事長	60 人
11月27日 (水)～ 28日(木)	日韓海峡圏研究機関協議会 2024 年度定期総会	SDGs と地域活性化	片山部長 原口主任研究員 福田研究員	50 人

(2) 受託研究事業

2024 年度は合計 48 本のプロジェクトに取り組んだ。半導体産業関連で複数の受託調査を手がけ、静脈部分も含めたサプライチェーンの調査を重点的に行った。その他では、企業人材に関する調査、サステナビリティ・リンク・ローンのフレームワーク策定などの脱炭素の調査や伴走支援、医療福祉分野での受託調査等が多かった。その他では、当会のおでかけウォッチャー事業のデータを活かした観光分析調査の引き合いも増えている。

【分野別受託研究一覧】

(統計作成・分析)		
1	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)（内閣府）
2	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズフック（福岡市）
3	「北九州市貿易統計」作成業務	(公社)北九州貿易協会
(地方創生)		
4	第3次行橋市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務委託	行橋市
5	第3期古賀市人口ビジョン及びデジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略策定支援業務委託	古賀市
6	太宰府市人口ビジョン及び第3期太宰府市総合戦略策定支援業務委託	太宰府市
7	佐賀市人口ビジョンに基づくライフコース希望調査業務	佐賀市
8	福岡広報事業経済波及効果算定業務委託	佐賀県
(地域振興)		
9	令和6年度 政策金融評価報告書に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
10	令和6年度別府市デジタル地域通貨導入可能性調査業務委託	別府市
11	五島列島（下五島エリア）ジオパーク保全管理計画検討業務	五島市
12	北九州国際映画祭の実施における経済波及効果推計業務	(株)読売広告西部（北九州市）
13	Fukuoka Flower Show（FFS）プレ大会による経済波及効果測定業務	日本コンベンションサービス(株)（福岡市）
14	地域政策デザインスクール支援事業	地域政策デザインスクール実行委員会

15	佐世保市基地経済等実態把握調査及び同調査に基づく活性化策提案業務	佐世保市
(産業振興)		
①	農林水産・食料品	
16	北九州市農林水産物 Re ブランド化戦略策定業務委託	北九州市
②	半導体関連	
17	令和 6 年度半導体関連製品製造時における静脈産業等の実態調査事業に係る役務請負	九州経済産業局
18	半導体等先端技術振興プロジェクト事業に関する業務委託	宮崎県
③	観光	
19	令和 6 年度（2024 年度）熊本県観光統計調査業務委託	熊本県
20	令和 6 年度 DX 観光客動態調査事業委託業務	(株)リクルートライフスタイル沖縄（沖縄県）
21	人流データ活用による観光動向調査・分析業務委託	熊本市
22	観光人流データ調査支援及びダッシュボード作成業務	北九州市
23	令和 6 年度佐賀県観光動態調査報告書（年報）作成業務	佐賀県
④	新産業・その他	
24	福岡県宇宙ビジネス実態調査業務	福岡県半導体・デジタル産業振興会議
25	令和 6 年度技術開発調査等推進事業（複数地域連携による社会起業家エコシステムの強化）	(株)ボーダレス・ジャパン（九州経済産業局）
(社会資本)		
26	「障がい児・者総合支援拠点整備」基本構想・基本計画策定業務委託	延岡市
27	デジタルツイン事業計画策定に関する調査支援業務	野原グループ(株)
28	北九州空港の物流に係る需要調査業務	(株)日本空港コンサルタンツ（福岡県）
29	佐賀市物流拠点構想策定業務	佐賀市
30	令和 6 年度移動時間推計調査委託	大分県
(雇用・人材育成等)		
31	ビジネスマナーに関する研修企画及び実施業務	九電テクノシステムズ(株)
32	博士人材需要調査	(国大) 九州大学
33	トラック輸送における取引環境の改善及び運転者の長時間労働抑制のための調査業務 ～トラック輸送におけるアンケート調査事業～	九州運輸局
34	令和 6 年度地域経済産業活性化対策調査（多様な人材が輝く包摂的な社会の実現に向けた雇用環境等調査事業）	九州経済産業局
(行財政)		
35	将来の人口動態に伴うまちづくり施策のあり方に関する調査業務委託	宗像市
36	新福岡県立美術館に併設する飲食店等の検討に係るサウンディング調査支援業務委託	福岡県
(医療・福祉)		
37	飯塚市子ども計画策定支援業務委託	飯塚市
38	第 3 期八代市子ども・子育て支援事業計画策定等業務	八代市

39	身体活動を促す各種事業の効果検証業務委託	福岡市
40	令和6年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	ラボラトリオ(株) (福岡市)
41	令和6年度福岡市在宅医療・介護連携推進事業支援業務委託	ラボラトリオ(株) (福岡市)
42	大牟田市在宅医療・介護連携ビジョン推進支援業務	大牟田市
43	嘉島町健康増進計画策定業務	嘉島町
44	福岡市保健福祉総合計画策定に係る調査等業務委託	福岡市
(環境・脱炭素)		
45	令和6年度(2024年度)既設再エネ発電施設の長期安定電源化促進モデル事業業務委託	熊本県
46	令和6年度地域経済産業活性化対策調査(地域サプライチェーンにおける中堅・中核企業を中心とした脱炭素化への取組に関する調査)	九州経済産業局
47	サステナビリティ・リンク・ローン フレームワーク策定業務	山口重工業(株)
(その他)		
48	九州経済を考える懇談会の資料作成	(一財)九州オープンイノベーションセンター

(3) 九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、2014年度から実施している。2024年度は、2024年2月1日(木)～3月29日(金)の応募期間に25本の申請を受付け、4月25日(木)に開催した「九経調地域研究助成委員会」において4本の助成先候補を選定、5月23日(木)の理事会にて助成先を決定した。また、2023年度に助成対象となった論文5本を九州経済調査月報6、7月号に掲載した。

▼審査結果

助成額：20万円助成／本

	テーマ	申請者・研究代表者(敬称略)
1	大分県内ファミリービジネスの海外展開にかかる考察	立命館アジア太平洋大学大学院 経営管理研究科／国際経営学部 准教授 福山 公博
2	九州地方における外国人介護福祉士の受け入れに関する実態調査	立命館アジア太平洋大学言語教育センター 講師 水戸 貴久
3	ソーシャルメディア及び映像コンテンツと異文化コミュニケーションの関係性に関する研究	九州大学大学院比較社会文化研究院 特別研究者 董 欣
4	奥八女地域での地域資源を取り入れた芸術活動とそれに関する交流が与える地域への影響の調査	関西大学大学院文学研究科 博士前期課程 石田 絵里香

▼九経調地域研究助成委員会 委員

(敬称略)

氏名	所属・役職	備考
縄田 真澄	(公財)九州経済調査協会 理事長	委員長
安浦 寛人	(公財)福岡アジア都市研究所 理事長	
松田 美幸	(公財)九州先端科学技術研究所 特別研究員	
柴田 建哉	(株)西日本新聞社 代表取締役社長	
水木 祐一	(株)日本政策投資銀行 九州支店長	

* 委員の所属・役職は委員会開催時（2024 年 5 月）

(4) おでかけウォッチャー事業

おでかけウォッチャー事業は、スマートフォンの位置情報を活用した観光客等の人流データを、自治体等に提供するサービスである。個別の観光スポットにおいて、どういった人達が（属性）、どこから（発地）、何人来訪したのか（人数）を把握し、また、直前・直後の立ち寄り先（周遊）を把握するものである。

2024 年度は、インバウンドの分析を追加するなどコンテンツの拡充に取り組んだほか、民間へのサービス提供を開始した。現在、基本サービス（無償）は 47 都道府県で 716 団体が活用し、プレミアムサービス（有償）は、124 団体と契約、306 アカウントを発行している。

当会のサービスは、総務省の「ビッグデータ・ポータル」にビッグデータの事例として掲載されているほか、観光庁「観光 DX コミュニティ」に自治体・観光協会・DMO 向けの解説動画（当会作成）が掲載されている。2024 年度には、「広島県 DX 推進コミュニティ」におでかけウォッチャーを用いた同県の取組みが掲載された。

2. 講演会・セミナー事業

会員の関心が高いテーマに関する情報を提供するとともに、当会の研究成果を広く伝えるため、講演会やセミナーを開催している。会場開催やオンライン開催、ハイブリッド（オンライン＋会場）開催を使い分け、2024年度は47回実施し、参加者数は延べ1,787人であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（計13回）

2025年版九州経済白書「事業承継から描く九州の未来～適切な新陳代謝による生産性革命への挑戦～」の刊行後、九州・沖縄・山口の12都市にて開催した。また、リアル開催に参加できなかった方や、九州外からの開催要望もあり、5月には2024年版九州経済白書「人手不足時代に立ち向かう九州～労働供給制約下の持続的成長に向けて～」をオンラインにて開催した。

地区	日時	会場	主催・共催・後援機関	説明者	参加者数
福岡	2月7日 (金)	FFG ホール	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 福岡商工会議所	松尾主任 研究員	120人
北九州	3月5日 (水)	FFG 北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 北九州商工会議所	松尾主任 研究員	29人
久留米	3月12日 (水)	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	松尾主任 研究員	32人
佐賀	2月28日 (金)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	片山部長	20人
長崎	2月13日 (木)	十八親和銀行本店	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 (株)長崎経済研究所 【後援】長崎経済同友会	松尾主任 研究員	35人
佐世保	2月20日 (木)	FFG 佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 佐世保商工会議所 【後援】長崎経済同友会	片山部長	32人
熊本	3月7日 (金)	くまもと森都心 プラザ	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	片山部長	30人
大分	2月25日 (火)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	片山部長	34人
宮崎	2月27日 (木)	MRTmics ダイヤモンドホール	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	松尾主任 研究員	86人
鹿児島	3月6日 (木)	鹿児島銀行本店別館 ビル	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	松尾主任 研究員	35人
沖縄	2月14日 (金)	沖縄県教職員共済会 館 八汐荘	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	松尾主任 研究員	18人

地区	日 時	会 場	主催・共催・後援機関	説明者	参加者数
山口	2 月 19 日 (水)	シーモールパレス ルビーの間	(株)山口フィナンシャルグループ (株)山口銀行 (一財)山口経済研究所 【後援】山口経済同友会	松尾主任 研究員	55 人
オンライン	2024 年 5 月 21 日 (火)	Zoom ウェビナー	(公財)九州経済調査協会	松嶋次長	108 人

(2) 定例の講演会・セミナー

①九経調交流会 (1 回)

九経調交流会は、会員との交流や会員間の交流を目的に開催している。2024 年度は、銀行員から築地本願寺代表役員宗務長、西本願寺代表役員執行長へと転身した僧侶の安永雄彦氏を講師に迎え、「ビジネスマン僧侶による築地本願寺のサバイバル戦略～伝統の新たな価値づくりへの挑戦～」をテーマに講演会を開催した。講演会終了後は懇親会を開催し会員間の交流を図った。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2 月 3 日 (月)	ビジネスマン僧侶による築地本願寺のサバイバル戦略～伝統の新たな価値づくりへの挑戦～	グローバル経営大学院大学 専任教授、武蔵野大学評議員、特別顧問（元理事） 安永 雄彦 氏	講演会 108 人 (懇親会 47 人)

②アジア経済講演会 (1 回)

1962 年以来、(独法)日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所との共催で毎年開催している。2024 年度は「インドの経済状況と九州企業の商機」をテーマに開催した。2023 年までのオンラインと会場のハイブリッド開催から、2024 年度は会場のみに転換した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
8 月 6 日 (火)	インドの経済状況と九州企業の商機	ジェトロ・アジア経済研究所 新領域研究センター 主任研究員 辻田 祐子 氏 ジェトロ福岡貿易情報センター 高度外国人材活躍推進コーディネーター 浦川 明典 氏	51 人

* ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の 3 者共催

③調査技法セミナー (1 回)

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンク研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催しており、2024 年度はヒアリング方法とデータ分析をテーマに 10 月に開催した（会場開催）。

【プログラム】

日 程	内 容	講 師	参加者数
10月3日 (木)	ヒアリング取材のイロハ	(株)日本経済新聞社 坂部 能生 氏	33 人
	ヒアリング成果の活用手法 ～ヒアリング等の定性的な情報分析～	当会 相川研究員	
10月4日 (金)	データ分析の意義と省力化	当会 河村研究員	31 人
	探索的データ分析と可視化	当会 相川研究員	

【参加機関】

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(株)福岡銀行	(株)ちくぎん地域経済研究所
(株)長崎経済研究所	(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所
(株)九州経済研究所	(株)おきぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫
(株)りゅうぎん総合研究所	(一財)山口経済研究所	(公財)九州経済調査協会

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、2024 年度は合計 30 回実施した。会場開催も復活し、オンライン形式とハイブリッド形式を組み合わせで開催した。

① Bizコリトーク (計 14 回)

九州経済調査月報をもとに、当会の研究員や外部の寄稿者によるセミナーを開催している（オンライン開催）。過疎地域における持続可能な企業経営のあり方、太陽光発電システムの長期安定電源化に向けた九州の動向、ナイトタイムエコノミー、九州の地域経済分析、山陽新幹線全線開通 50 周年等をテーマに研究成果を報告した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4月9日 (火)	九州のソーシャルビジネス	当会 岡野常務理事、能本次長、原口主任研究員	29 人
5月14日 (火)	ウォーカブルなまちづくり	熊本市 都市建設局 都市政策部 市街地整備課 江崎 潤 氏、九州共立大学 経済学部 准教授 宋 謙 氏、和歌山大学 観光学部 教授 八島 雄士 氏、当会 秋野研究員	29 人
6月11日 (火)	九州の地域研究	島根県中山間地域研究センター 企画情報部 地域研究科主任研究員 東 良太 氏、九州大学大学院 人間環境学府博士課程 岩淵 丈和 氏	20 人
7月19日 (金)	企業経営と気候変動リスクへの対応	環境省 地球環境局 総務課 気候変動科学・適応室 室長補佐 秋山 奈々子 氏、(株)かんがえる防災 代表取締役 高木 敏行 氏	14 人
7月23日 (火)	九州の地域研究 ～九経調助成論文より～	九州産業大学 経済学部 講師 柳 永珍 氏、宮崎大学大学院 地域資源創成学研究科 観光・地域経済・産業政策研究室 工藤 七海 氏、長崎県立大学大学院 地域創生研究科博士後期課程 黄 淑慎 氏	12 人

日 程	テーマ	講 師	参加者数
8 月 20 日 (火)	公共交通の新潮流	(一社)九州経済連合会 地域共創部参事 木下 貴友 氏、ネクストモビリティ(株) 交通計画支援グループ マネージャー 田代祐一 氏、当会 南研究員、清水研究主査	46 人
8 月 27 日 (火)	【特別編】 2024 年度九州経済見通し (改訂)	当会 河村研究員	20 人
9 月 10 日 (火)	ナイトタイムエコノミー	当会 石原調査役、山本研究員、清水研究主査	38 人
10 月 8 日 (火)	太陽光発電システムの長期安定 電源化に向けた九州の動向	(一社)太陽光発電協会 地域共創企画部長 谷口 武士 氏、NR-Power Lab(株)代表取締役社長 中西 祐一氏、当会 藤井次長	50 人
11 月 12 日 (火)	新しい意味を生み出すリビング ラボ	(一社)リビングラボネットワーク代表理事 木村 篤信 氏、(一社)日本リビングラボネットワーク 理事 長島 洋介 氏、(一社)大牟田未来共創センター 代表理事 原口 悠 氏、当会 原口主任研究員	20 人
12 月 13 日 (金)	過疎地域における持続可能な企業経営のあり方	「地域開発」誌元編集長 大西 達也 氏、当会 松嶋次長	24 人
1 月 14 日 (火)	九州の新たな一年	当会 清水研究主査、得能研究員	41 人
2 月 10 日 (月)	九州の経済分析	当会 河村研究員、秋野研究員	24 人
3 月 11 日 (火)	山陽新幹線全線開通 50 周年	富山国際大学 准教授 大谷 友男 氏、当会 清水研究主査	25 人

②地域経営セミナー (計 5 回)

TSMC 進出や天神ビッグバンなどで、九州経済への関心は高まっていることから、九州に赴任された方や新社会人の方に分かりやすく解説する「60 分でわかる九州経済入門編」を 8 月と 3 月に開催した。また、「DATASALAD」をビジネスに活用いただけるよう、DATASALAD の設定・操作方法から活用事例を紹介する「ビジネスはもっと楽になる！地域経済データ^秘活用法 2024～事業戦略策定や商談に使える「DATASALAD」の解説～」を 6 月と 10 月に開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
6 月 25 日 (火)	ビジネスはもっと楽になる！ 地域経済データ ^秘 活用法 2024～事業戦略策定 や商談に使える「DATASALAD」の解説～	当会 河村研究員	60 人
8 月 7 日 (水)	60 分でわかる九州経済 入門編	当会 岡本次長	65 人
10 月 16 日 (水)	ビジネスはもっと楽になる！ 地域経済データ ^秘 活用法 2024～事業戦略策定 や商談に使える「DATASALAD」の解説～	当会 河村研究員	28 人

日 程	テーマ	講 師	参加者数
1 月 28 日 (火)	好きなことを仕事にするキャリア開発術 ～40 歳からサッカーイラストを描き始めて日 本サッカー協会にたどり着くまで	イラストレーター 宮内大樹 氏、 メカトラック(株)代表 取締役 永里 壮一 氏	15 人
3 月 13 日 (木)	60 分でわかる九州経済 入門編	当会 岡本次長	44 人

③共催セミナー (計 4 回)

共催セミナーは、賛助会員等とのコラボレーションで開催するもので、2024 年度は、九州産業大学と専門図書館協議会、長崎大学とともに実施した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9 月 3 日 (火)	第 13 回九州産業大学×BIZCOLI コラボ セミナー「消費者・生活者との情報接 点～フィジカル店舗とサイバー店舗と の違いについて」	九州産業大学 建築都市工学部 教 授 福山 秀親 氏、九州産業大学 商 学部 教授 岩永 洋平 氏	21 人
12 月 18 日 (水)	専門図書館協議会 × BIZCOLI コラボセ ミナー「六本木ライブラリーの奇跡～ 引き継がれる DNA～」	元六本木ライブラリー ディレク ター 小林 麻実 氏	33 人
1 月 30 日 (木)	長崎大学 × 九経調コラボセミナー「グ ローバルリスクとしてのロシア・ウク ライナ戦争～アジア・九州へのインプ リケーション」	長崎大学グローバルリスク研究セ ンター長/北海道大学スラブ・ユ ーラシア研究センター教授 岩下 明裕 氏	32 人
2 月 18 日 (火)	第 14 回九州産業大学×BIZCOLI コラボ セミナー「パブリックアートを活用し た地域活性化～『オアシス篠栗』の集 客にアートの力で協力したら～」	九州産業大学 造形短期大学部 教授 黄 禧晶 氏 九州産業大学 芸術学部 教授 田 承嬭 氏	9 人

④九州国立博物館応援セミナー (1 回)

九州国立博物館で開催される特別展にあわせて、担当学芸員が解説するセミナーをオンライ
ン形式で開催している。九州国立博物館では 4～12 月の期間で特別展示室を改装したため、
2024 年度の開催は 1 件となった。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
2 月 14 日 (金)	物語を伝える埴輪	九州国立博物館 学芸部長 白井 克也 氏	36 人

⑤サイエンス・カフェ (計 6 回)

サイエンス・カフェは、科学者による市民向け勉強会で、九州大学が企画し、当会が主催し
ている。九州大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題を提供している。
2024 年度は、全て会場にて開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5 月 24 日 (金)	情報薬の謎に迫る！～あなたの情報で変えられる？～	九州大学 大学院情報科学 研究院・大学院電子工学研 究院 教授 荒川 豊 氏	35 人
6 月 14 日 (金)	本当のところ、日本の医療ってどうなの？～世界からみた日本の医療～	九州大学病院 国際医療部 九州大学病態機能内科学 准教授 森山 智彦 氏	26 人
9 月 27 日 (金)	原子の数を制御して化学反応のメカニズムに迫る！～身の回りから宇宙まで～	九州大学 理学研究院 地球惑星科学部門 准教授 荒川 雅 氏	29 人
10 月 25 日 (金)	引き算の化学、金属イオン絵を媒体に！？～科学技術で木造家屋や放置竹林を資源に変えることができる？～	九州大学 工学研究院 応用科学部門 准教授 松元 崇弘 氏	31 人
12 月 19 日 (木)	心肺蘇生について～とっさの時に人を救えますか？～	九州大学 医学研究院 臨床医学部 赤星 朋比古 氏	12 人
3 月 28 日 (金)	縄文文化の多様性とその背景に迫る！～なぜ縄文文化は”東高西低”に見えるのか？～	九州大学 総合研究博物館 助教 福永 将大 氏	26 人

⑥ビッグデータセミナー (1回)

地域分析を行う上でデータサイエンティストに求められる技能や、ノウハウを学ぶセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
11 月 20 日 (水)	データ活用から地域観光の未来を拓く～人流の視点で地域課題を整理し、生活者の声から打ち手を磨く	大川市インテリア課 課長補佐兼おおかわセール ス係長 龍 るり子 氏 CCCMK ホールディングス (株) データベースマーケティ ング事業 コンサルタント 大澤 祐介 氏 当会 渡辺研究主査	36 人

3. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに空間づくりに努めており、九州の経済社会情報に加えて、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の収蔵、新聞記事等のインターネット検索サービスの提供、セミナーやイベント、企業との共同展示を実施している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供している。

（１）地域経済図書館としてのサービス

1) BIZCOLI の利用状況

2024 年度の利用者は 19,476 人と、対前年度比 8%増となった。コロナにより大きく減少した利用者数は、2019 年度比 95%まで回復した。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数
2012 年度	8,044 人	19 年度	20,544 人
13 年度	12,238 人	20 年度	12,057 人
14 年度	13,479 人	21 年度	13,599 人
15 年度	15,486 人	22 年度	15,163 人
16 年度	16,984 人	23 年度	17,966 人
17 年度	16,743 人	24 年度	19,476 人
18 年度	18,461 人		

2) 企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。2024 年度は 31 件の行政や企業、団体等と連携して、常設・企画展示を行った。

①常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	県作成のパンフレット、関連統計書など
沖縄県	県作成のパンフレット、関連統計書など
鹿児島県	県作成のパンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	BIZCOLI エントランスの九州アジア逆さ地図の展示
九州防衛局	防衛白書、地図、スクランブル発信数のグラフなど
熊本県	県作成のパンフレット、関連統計書など
熊本市	政令市作成のパンフレット、関連統計書など
(株)コマンドディー	ドローン実機、ドローン映像、資料など
佐賀県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)ゼンリン	交流ラウンジの地図
長崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など

企業・団体名	展示物など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	県作成のパンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	日本経済の「今」がわかる 関係資料
福岡市	県作成のパンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
別府市	県作成芸術文化実施計画・移住・定住計画など
宮崎県	県作成のパンフレット、関連統計書など
(株)安川電機	双腕ロボットの模型
椎葉村	椎葉村広報雑誌・移住案内など
山口県	県作成のパンフレット、関連統計書など

②企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	九州エネルギー問題懇話会による企画展示
絶景九州	写真の展示（パネル、タブレット）
(一社)ツール・ド・九州	「マイナビ ツール・ド・九州 2024」の展示
(株)TVQ 九州放送	経済情報番組「ぐっ！ジョブ」登場企業の展示
日本通運(株)	ホワイト物流関連資料など
(NPO 法人)九州・アジア経営塾	次世代ビジネスリーダー育成プログラム推薦図書の展示
北九州市立大学	K2BS（ビジネススクール）教科書・参考図書展示

（２）講演会・セミナー会場の運営

2024 年度の BIZCOLI 内にある講演会・セミナー会場の外部利用による収益額は、対前年同期比 63%増の 262 万円であった。マイデスクゾーンは 2,864 時間の利用があり、収益額は対前年同期比 10%減の 28 万 6 千円であった。

（３）個室空間の提供

電話や Web 会議など、周囲を気にせずに利用できるひとり用の個室空間として、リモートミーティングボックスを提供しており、2024 年度は延べ 615 時間の利用があり、対前年同期比 30%増の 24 万 6 千円であった。

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

会員数 458名（2025年3月末現在）
2024年度決算 72,315千円

2024年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	・ 通常総会、常任幹事会、幹事会の開催 ・ 例会の開催 ・ 各委員会において講演会等を開催 ・ 県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催 ・ 春秋会（ゴルフコンペ） ・ カップリングパーティー（婚活支援）
九州経済同友会	・ 九州経済同友会大会（鹿児島） ・ 会員合同懇談会 ・ 代表幹事会 ・ 企画委員会 ・ 西日本経済同友会代表者会議 ・ 九州地域戦略会議、同会議で実施が決定した個別プロジェクト会議への参加 ・ 九州経済を考える懇談会

* その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 144 回（うち共催・後援 17 回）

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

「九州経済を考える懇談会」は、九州を代表する経済団体のトップが集まり、九州経済の重要課題について認識を共有し、解決策について議論する会合である。2010 年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始された。2013 年 1 月に現在の名称に変更した。（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、当会の三者が共同事務局を組織して運営しており、当会理事長がコーディネーターを務めている。2024 年度は以下の内容で開催した。

No.	日時・場所	テーマ	参加者
第1回	7月10日 (水) (一社)九州 経済連合会	1)第45回九州地域戦略会議の総括と今後の対応について 2)九州・沖縄地方産業競争力協議会（Earth 戦略会議）の今後のあり方（案） 3)九州国立博物館開館20周年記念特別展への対応について 4)通年採用による留学生の九州定着に向けて（9月卒業生への対応）	(一社)九州経済連合会 会長 倉富 純男 氏（座長） *九州経営者協会 会長を兼任 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦 氏 (一財)九州オープンイノベーションセンター 会長 瓜生 道明 氏 当会 縄田理事長(コーディネーター)
第2回	2月12日 (水)	1)九州地域戦略会議 QX プロジェクトについて	当会 縄田理事長(コーディネーター)

	(一社)九州 経済連合会	2) 九州経済の課題について 3) 社会全体における「価格転嫁の商習慣」の定着に向けて	
--	-----------------	--	--

(3) 地域政策デザインスクールの事務局

「地域政策デザインスクール」(理事長：福田 晋 九州大学 理事・副学長)は、社会人と九州大学大学院生を対象に、自律的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会課題の解決に貢献する教育・研究を目的に、2010 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、(一社)九州経済連合会、(一財)九州オープンイノベーションセンター、(株)西日本新聞社、福岡地域戦略推進協議会、そして大会が実行委員会メンバーとなっている。

2024 年度は、53 名(受講生 30 名、聴講生 23 名)が受講した。地域政策デザインスクールと北九州市、佐賀市、熊本県菊陽町、竹田市、日置市の 5 自治体が連携し、受講生は 5 自治体の政策提言づくりに取り組んでいる。5 月に開講し、11 月に政策研究発表会を開催した。

地域政策デザインスクール 講師一覧

氏 名	所 属
永田 晃也	九州大学大学院経済学研究院 教授
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長／九州大学 客員教授
濱 久人	(株)彩成コンサルティング 代表取締役社長
原口 唯	(株)YOUI 代表取締役 ／九州大学科学技術イノベーション政策教育センター 特任准教授
佐々木 久美子	(株)グルーヴノーツ 代表取締役会長
村岡 浩司	(株)一平ホールディングス 代表取締役社長
大熊 充	うきはの宝(株) 代表取締役
馬田 隆明	東京大学 FoundX ディレクター
崎田 恭平	(株)飫肥社中 代表取締役
大井 忠賢	九州大学 客員助教／福岡地域戦略推進協議会 フェロー

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、下表以外に、外部主催の講演会への講師派遣やセミナー等への参加・企画協力を行っている（詳細は巻末資料参照）。

対外活動実績

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】 経済産業省、内閣府、九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、福岡県、熊本県、長崎県、佐賀県、福岡市、北九州市、久留米市、飯塚市、糸島市、柳川市 【団体】 (公財)飯塚研究開発機構、(公財)経営者顕彰財団、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(一財)機械振興協会経済研究所、(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会、(一社)九州観光機構、(一社)九州経済連合会、専門図書館協議会、福岡県立図書館、福岡市総合図書館 【民間・大学】 九州産業大学	就任件数 計 42 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	九州産業大学、福岡女学院看護大学 *1 コマの派遣は含まず	計 2 大学 2 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	NHK 福岡、NHK 宮崎、毎日放送、九州朝日放送、福岡放送、テレビ西日本、テレビ長崎、長崎放送、熊本放送、J-WAVE	延 17 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、日経ビジネス、日経ビジネス電子版、毎日新聞、毎日新聞速報ニュース、日経 MJ、西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、大分合同新聞、熊本日日新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、沖縄タイムス、琉球新報、愛媛新聞、四国新聞、徳島新聞、中日新聞、中国新聞神戸新聞、福井新聞、北日本新聞、北海道建設新聞、日経マネー、日本食糧新聞、日刊産業新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、建通新聞、長崎建設新聞、佐賀建設新聞、鹿児島建設新聞、建通新聞、鉄鋼新聞、日本証券新聞、観光経済新聞、日刊海事プレス、輸送経済、Daily Cargo 電子版、日刊不動産経済通信、時事通信ニュース、Y's ニュース台湾、亞洲リサーチ 中国株ニュース、亞洲リサーチ 中国産業データ&レポート、ふくおか経済、PR TIMES、ニッキン、ジェットロ・ビジネス短信、国際新聞（韓国紙）、聯合ニュース（韓国 釜山地元紙）、行政新聞（韓国 慶南地元紙）、ニュース慶南（韓国 慶南地元紙）、メディアタイムズ（韓国ニュースサイト）、財界九州、モデルプレス、日刊スポーツ	延 304 件
(5) インターシップの受入	関西大学 (8月5日(月)～7日(水)) 九州大学大学院 (9月25日(水)～27日(金))	2 人

6. 会務運営

(1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催

当会は公益財団法人に移行して 12 年目を迎えた。組織の運営にあたっては、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。また、幹事会や参与会を定例化して、公益財団としての組織力を強化している。2024 年度は、理事会を 4 回、評議員会を 3 回開催、幹事会を 1 回、企画委員会を 1 回開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5 月 23 日 (木)	2024 年度 第 1 回 第 57 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 5 年度決算（案）について 第 3 号議案 幹事の選任について 第 4 号議案 顧問、参与の委嘱について 第 5 号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第 6 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 その他
7 月 26 日 (金)	2024 年度 第 2 回 第 58 回理事会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 幹事の選任について 第 2 号議案 参与の委嘱について
10 月 10 日 (木)	2024 年度 第 3 回 第 59 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 2024 年度更正予算（案）について 第 2 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 2024 年度上期事業報告について 第 2 項 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 第 3 項 参与会の開催について 第 4 項 幹事会の開催について 第 5 項 その他
2 月 27 日 (木)	2024 年度 第 4 回 第 60 回理事会	【決議事項】 第 1 号議案 2025 年度事業計画（案）について 第 2 号議案 2025 年度予算（案）について 第 3 号議案 内閣府への定期提出書類について 第 4 号議案 資金運用規程について 第 5 号議案 幹事の選任について 第 6 号議案 顧問、参与の委嘱について 第 7 号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第 1 項 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 第 2 項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議 案 等
6 月 18 日 (火)	2024 年度 第 1 回 第 40 回評議員会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 5 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 5 年度決算（案）について 第 3 号議案 役員報酬規程の改定について 第 4 号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第 1 項 幹事の選任について 第 2 項 顧問、参与の委嘱について 第 3 項 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第 4 項 その他
11 月 1 日 (金)	2024 年度 第 2 回 第 41 回評議員会	【決議事項】 第 1 号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第 1 項 2024 年度上期事業報告について 第 2 項 2024 年度更正予算について 第 3 項 参与会の開催について 第 4 項 幹事会の開催について 第 5 項 その他
3 月 24 日 (月)	2024 年度 第 3 回 第 42 回評議員会	【報告事項】 第 1 項 2025 年度事業計画について 第 2 項 2025 年度予算について 第 3 項 資金運用規程について 第 4 項 幹事の選任について 第 5 項 顧問、参与の委嘱について 第 6 項 その他

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議 案 等
2 月 6 日 (木)	第 19 回幹事会	1 2024 年度幹事会からの提案による自主研究の報告 2 2025 年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定 3 その他

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議 案 等
1 月 21 日 (火)	企画委員会	1 2024 年度自主研究の報告 2 2025 年度自主研究テーマ（案）について 3 その他

⑤参与会の開催状況

開催日	開催参与会	議 案 等
12 月 10 日 (火)	第 12 回参与会	1 報告 テーマ 「2024 年版九州経済白書～人手不足時代に立ち向かう九州～」 報告者 当会 松嶋次長 2 意見交換

（２）財務経理・人事労務並びに人材育成の強化

新公益法人制度の下、主務官庁の内閣府に対して、2023 年度事業報告・財務諸表等を 6 月に提出した。人事労務については、各申請書類のデジタル化、柔軟な勤務体制への変更等を進めている。また、当会では研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。この他、外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。なお、新卒採用強化に向けて、厚生労働省が認定する「ユースエール」（若手の採用・育成に積極的な企業を認定）と、「えるぼし」（女性の活躍推進への取組みが優良な企業を認定）を 2021 年度より継続している。

（３）会員維持・拡大

①賛助会員

DATASALAD や BIZCOLI、セミナー、講師派遣、研究員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めた。2024 年度の入会件数は前年度を 10 件上回る 32 件で、45 口となった。また、退会件数は 29 件であり、会員数は期首 564 会員から 3 会員純増して 567 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,896 万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
		維持会員	普通会员	個人会員	町村会員
2024 年度期首	564	90	452	19	3
入 会	32	5	23	3	1
退 会	29	3	21	5	0
増 減	3	2	2	-2	1
会員種別変更	0	-2	2	0	0
2024 年度末	567	90	456	17	4

・ 2015 年度末	会員数	576 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,648 万円
・ 2016 年度末	会員数	574 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,574 万円
・ 2017 年度末	会員数	583 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,649 万円
・ 2018 年度末	会員数	593 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,791 万円
・ 2019 年度末	会員数	590 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,796 万円
・ 2020 年度末	会員数	570 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,505 万円
・ 2021 年度末	会員数	572 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,669 万円
・ 2022 年度末	会員数	578 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,818 万円
・ 2023 年度末	会員数	564 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,808 万円
・ 2024 年度末	会員数	567 会員	・ 会費実勢額	1 億 2,896 万円

②BIZCOLI 会員

2024 年度の会員数は、期首 118 会員から 61 会員となった。会費実勢額（月会費×12 カ月）は、2024 年末で 630 万円となった。

なお、10 月 1 日（火）より、BIZCOLI 会員の会費値上げと営業時間の短縮を実施した。フルタイム会員（平日 10～21 時）の月会費は、従来の 12,000 円から 15,000 円、デイトタイム会員（平日 10～18 時）は月額 9,000 円から 12,000 円へ変更し、平日の閉館時間は従来の 22 時から 21 時へ変更した。

BIZCOLI 会員の内訳 （61 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	2	フルタイム+土曜日	1
デイトタイム	13	デイトタイム+土曜日	0
ナイトタイム	25	ナイトタイム+土曜日	8
土曜日	12	合 計	61

事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。

(参考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 93 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く展開している。2024 年度は 93 件の講師派遣を行った。

講師派遣一覧

日 程	依 頼 元	会合名・タイトル	講 師	参加者数
4 月 10 日 (水)	SMBC 日興証券(株)	機関投資家向けオンラインセミナー 九州のインフラの現状、課題、展望	岡野常務理事	4 人
4 月 10 日 (水)	福岡県経営者協会	福岡県経営者協会一月会 2024 年版九州 経済白書	松嶋次長	50 人
4 月 19 日 (金)	日本証券アナリスト 協会九州支部	九州例会 九州第 5 浮揚期実現へ ～その状況と条件&九州経済白書の内容	片山部長	20 人
4 月 23 日 (火)	長崎県立大学	地域創造概論講義 2024 年版九州経済 白書	松嶋次長	200 人
4 月 23 日 (火)	(株)YOUI	TABLE SESSION TENJIN⑬～本がま ちづくりにもたらすもの～ BIZCOLI の挑戦	岡本次長	30 人
4 月 24 日 (水)	三菱電機(株)九州支社	経営方針説明会 九州経済の現状と見通 しについて	河村研究員	60 人
5 月 11 日 (土)	九州産業大学	図書館のつくりかた	岡本次長	30 人
5 月 15 日 (水)	日本文理大学	教養教育科目「産学一致の勧め」 九州の産業構造	岡野常務理事	593 人
5 月 20 日 (月)	SMBC 日興証券(株)	海外機関投資家勉強会（シンガポール） Future Potential and Outlook of “Silicon Island Kyushu” シリコンアイ ランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	3 人
5 月 20 日 (月)	SMBC 日興証券(株)	海外機関投資家勉強会（アメリカ） Future Potential and Outlook of “Silicon Island Kyushu” シリコンアイ ランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	4 人
5 月 24 日 (金)	SMBC 日興証券(株)	海外機関投資家勉強会（アメリカ） Future Potential and Outlook of “Silicon Island Kyushu” シリコンアイ ランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	4 人
5 月 28 日 (火)	九州電力(株)東京支店	2024 年版九州経済白書	松嶋次長	20 人
6 月 10 日 (月)	北九州市立大学	環境都市論 特別講義	松嶋次長	100 人
6 月 18 日 (火)	福岡千羽会事務局	令和 6 年度福岡千羽会総会 人手不足 (2024 年版九州経済白書)	松嶋次長	60 人
6 月 18 日 (火)	佐賀地域経済研究会 事務局（佐賀大学）	佐賀地域経済研究会 経済・観光統計の 分析・利活用ワークショップ	渡辺研究主査	12 人
6 月 18 日 (火)	漢陽大学 LINC3.0 事 業団	第 3 回日韓リビングラボフォーラム 認知症－ケア挑戦と機会、日韓を結ぶ	原口主任研究員	70 人
6 月 19 日 (水)	SMBC 日興証券(株)	海外機関投資家勉強会（香港） Future Potential and Outlook of “Silicon Island Kyushu” シリコンアイランド九州のポ テンシャルと未来	岡野常務理事	4 人
6 月 20 日 (木)	福岡県運輸事業協同 組合連合会	九州運輸事業協同組合連絡協議会定時総 会 人手不足時代に立ち向かう九州	松嶋次長	20 人

日 程	依 頼 元	会合名・タイトル	講 師	参加者数
6月20日 (木)	日本エアーテック(株)	2024 年度 製品説明会 九州における半 導体関連産業の現状・見通し	相川研究員	1,000 人
6月28日 (金)	(株)西日本新聞社	福岡メディアビジネス合同研修 はじめ ての九州経済	渡辺研究主査	20 人
7月3日 (水)	北九州商工会議所	北大経済圏構想推進協議会 「JR 日豊 本線の可能性と地方路線の活用策」	南研究員	26 人
7月4日 (木)	MM 会西日本支部九 州部会	MM 会西日本支部九州部会 総会・定例会 九州経済のポテンシャルと未来像	岡野常務理事	23 人
7月8日 (月)	長崎県議会	長崎県議会議員との意見交換会 2024 年版九州経済白書	松嶋次長	20 人
7月11日 (木)	東北大学公共政策大 学院	東北大学公共政策大学院・講義「政策過 程の歴史分析」 九経調の概要	岡本次長 秋野研究員	15 人
7月23日 (火)	九州イノベーション 創出戦略会議	九州イノベーション創出戦略会議 (KICC) 特別講演会 シリコンアイラ ンド九州の未来	岡野常務理事	91 人
7月26日 (金)	(独行)日本貿易振興機 構 福岡貿易情報セン ター	ジェットロ・メンバーズ交流会 九州の半 導体エコシステムと地域経済に与える影 響	相川研究員	60 人
8月2日 (金)	(株)福岡リアルティ 福岡地所(株)	福岡のマーケット情報に関する勉強会	片山部長	50 人
8月19日 (月)	日本サイエンスパー ク協会	日本サイエンスパーク協会 (JASPA) の 研究会 九州の産業特性と成長戦略	岡野常務理事	18 人
8月21日 (水)	大分県議会	九州各県議会議長会議 令和6年度第2回 定例会 九州の経済発展と交流インフラ ～東九州に求められる広域交通インフラ	岡野常務理事	54 人
9月4日 (水)	(一社)九州半導体・デ ジタルイノベーション 協議会	SEMICON Taiwan 2024 日本・台湾技 術交流国際シンポジウム・ITRI 見学会 The Characteristics and Potential of Silicon Island Kyushu 半導体産業につい て	岡野常務理事 相川研究員	90 人
9月4日 (水)	九州経済産業局	キーパーソン事業 「EBPM セミナー& WS」 滞留時間や滞在時間の増加とそれ に伴う消費額増加に向けた政策立案	渡辺研究主査	16 人
9月6日 (金)	九州軟包装部会	夏季セミナー 世界情勢から今後の日本 と九州の経済を考える 経済見通し	河村研究員	29 人
9月17日 (火)	岩手県立大学	総合政策学部産業講演会 新生シリコン アイランド九州と地域経済の展望	相川研究員	50 人
9月25日 (水)	(株)西日本シティ銀行	九州半導体産業展 新生シリコンアイラ ンド九州の誕生に向けた今後の展望 (パ ネルディスカッション)	岡野常務理事	180 人
9月25日 (水)	九州共立大学	キャリア基礎演習Ⅰ 九州経済論	松嶋次長	400 人
9月26日 (木)	(一社)日本電機工業会 九州支部	企業研究会 九州地区における半導体分 野の最新動向について	相川研究員	50 人
9月26日 (木)	九州半導体産業展実 行委員会	九州半導体産業展 シリコンアイランド 九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	140 人
10月1日 (火)	(株)IHI	IHI 勉強会 半導体産業の進化と日本企 業のポジション	岡野常務理事	18 人
10月1日 (火)	(一社)九州経済連合会 鹿児島地域委員会	九州経済連合会 鹿児島地域委員会 人材 確保について	松嶋次長	70 人
10月8日 (火)	(国研)産業技術総 合研究所 九州セン ター	研究講演会 シリコンアイランド九州の 未来	岡野常務理事	182 人
10月11日 (金)	直方商工会議所	新幹線の効果と東福岡駅(仮称)の可能 性について	岡野常務理事	70 人

日 程	依 頼 元	会合名・タイトル	講 師	参加者数
10月15日 (火)	SMBC 日興証券(株)	海外機関投資家勉強会 (アメリカ) Future Potential and Outlook of “Silicon Island Kyushu” シリコンアイ ランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	1人
10月16日 (水)	(一社)日本建設業連合 会九州支部	九州の社会資本整備の重要性に関するシ ンポジウム 九州の経済発展と交流イン フラ	岡野常務理事	350人
10月18日 (金)	野村証券(株)	国内外機関投資家勉強会 シリコンアイ ランド九州の未来	岡野常務理事	38人
10月22日 (火)	久留米大学	西尾典子ゼミ 九州経済と九州企業	岡本次長	20人
10月23日 (水)	行橋市	水曜会	岡野常務理事	40人
10月26日 (土)	熊本大学大学院	半導体産業から日本の産業政策について 考えるシンポジウム	岡野常務理事	80人
11月5日 (火)	兵庫県統計協会	令和6年度兵庫県統計活用セミナー 地 域統計による分析手法の解説	松嶋次長	40人
11月10日 (日)	九州大学大学院経済 学府	九州大学大学院 BS 短期エクゼクティブ プログラム 加速する経営環境の変化と 事業戦略の最適化	片山部長	25人
11月12日 (火)	(一社)九州経済連合会	九州・韓国経済協力会議 2024	松嶋次長	60人
11月14日 (木)	九州工業大学	情報工学専攻 半導体トピックセミナー シリコンアイランドの進化とポテンシャル	岡野常務理事	63人
11月15日 (金)	(一社)日本電機工業会 九州支部	第241回労務委員会 2024年版九州経 済白書	松嶋次長	10人
11月15日 (金)	(株)西日本新聞社	九州 DX カンファレンス 2024 DX を支 える九州半導体産業の最新潮流	相川研究員	150人
11月21日 (木)	九州ビルディング協会	九州ビルディング協会 11月例会 九州の 経済・産業動向	河村研究員	53人
11月22日 (金)	SMBC 日興証券(株)/三 井住友 DS アセットマ ネジメント(株)	機関投資家向け個別勉強会 シリコンアイ ランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	31人
11月26日 (火)	(株)西日本シティ銀行	サステナブル経営実現に向けた「サステ ナブルファイナンス」 サステナブル ファイナンスが企業経営にもたらすもの とは	片山部長	150人
11月26日 (火)	三井物産(株) 九州支 社	三井物産グループ連絡会議 九州経済動 向と経済発展の原動力	岡野常務理事	30人
11月28日 (木)	大分県	中九州横断道路リレーシンポジウム	岡野常務理事	546人
11月28日 (木)	福岡市	博多港振興セミナー2024 in 台湾 九州 半導体産業の最新動向と台湾との連携	河村研究員	145人
11月29日 (金)	大分県 LSI クラスター 形成推進会議	シリコンアイランド九州の未来～大分県 の半導体関連産業の課題と期待・チャン ス～	岡野常務理事	79人
12月5日 (木)	内閣府沖縄総合事務 局	シリコンビーチ沖縄フォーラム 沖縄の 可能性 R&D・試作・実証実験	岡野常務理事	53人
12月5日 (木)	内閣府沖縄総合事務 局	シリコンビーチ沖縄フォーラム 沖縄高 専と産業界をつなぐ	相川研究員	53人
12月12日 (木)	(一社)九州経済連合会	沖縄連携フォーラム 2024年版九州経 済白書 (人材)	松嶋次長	150人
12月16日 (月)	九州新幹線西九州ル ート整備推進協議会	九州新幹線西九州ルート整備促進シンポ ジウム	岡野常務理事	1,000人

日 程	依 頼 元	会合名・タイトル	講 師	参加者数
12月17日 (火)	長崎経済同友会佐世保地区事務局	長崎経済同友会 12 月例会 2024 年版九州経済白書	松嶋次長	50 人
12月17日 (火)	北九州市	北九州市管理監督者マネジメント研修 最新の金融経済情勢について	藤井次長	200 人
12月18日 (水)	北九州市	北九州市管理監督者マネジメント研修 最新の金融経済情勢について	松嶋次長	50 人
12月19日 (木)	(株)ゴールデンプリッジ	上海安越コンサルティング会員企業訪日研修団 九州の地域経済・半導体産業の現状と未来	相川研究員	20 人
12月21日 (土)	(株)ふくおかフィナンシャルグループ	サタデーカレッジ ESG/SDGs に関すること	松尾主任研究員 平松研究主査 永野研究主査 秋野研究員	127 人
1月9日 (木)	北九州市	北九州市産業経済局職員研修 2024 年度九州経済白書について	松嶋次長	50 人
1月15日 (水)	宮崎県	みやざきの新幹線を考えるシンポジウム 新幹線がみやざきにもたらすもの	岡野常務理事	180 人
1月17日 (金)	(株)福岡銀行	Q-BASS 合同勉強会 九州の半導体産業の特徴やポテンシャル	岡野常務理事	692 人
1月22日 (水)	篠原アソシエイツ(株)	経営者様向けセミナー 2025 年の九州経済の行方について	岡野常務理事	38 人
1月30日 (木)	宮崎県議会事務局	令和 6 年度九州各県議会議員交流セミナー 半導体産業と取り巻く潮流と九州	岡野常務理事	145 人
2月4日 (火)	大分県ポートセールス実行委員会	大分港セミナー 沸騰する九州の半導体産業～九州のポテンシャルと波及効果	岡野常務理事	90 人
2月9日 (日)	福岡商工会議所	2024 年度第 2 回福岡起業塾「地域を取り巻く社会経済動向～データでみる福岡の特徴」	藤井次長	25 人
2月20日 (木)	九州財務局宮崎財務事務所	みやざき活性化フォーラム 2024 年版九州経済白書	松嶋次長	25 人
2月22日 (土)	延岡市商工会議所	日豊経済圏開発促進協議会 九州の経済発展と交流インフラ～東九州軸の強化を目指して	岡野常務理事	79 人
2月25日 (火)	三井物産(株) 九州支社	三井物産グループ会社ワークショップ 九州を知る	藤井次長	25 人
2月27日 (木)	九州旅客鉄道(株)	九州解説デイ 九州経済について	片山部長	150 人
3月3日 (月)	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	福岡県半導体インターンシップオリエンテーション基調講演 成長する半導体産業と九州・福岡のポテンシャル	岡野常務理事	22 人
3月6日 (木)	(株)福岡リアルティ	福岡リアルティ/福岡地所勉強会 福岡のマーケット環境	片山部長	60 人
3月10日 (月)	北九州商工会議所	六翔ガス連合会・北九州商工会議所 共催セミナー 経済講演会 福岡県・北九州市の景気動向について	河村研究員	19 人
3月14日 (金)	(株)福岡銀行	MUFG×FFG 九州半導体フォーラム 九州における半導体産業のさらなる成長に向けて	岡野常務理事	180 人
3月17日 (月)	福岡アジア高齢社会デザイン協議会	福岡市主催ウェルビーイング・セミナー ①「長崎県ながよ光彩会の挑戦」 司会	原口主任研究員	50 人
3月18日 (火)	福岡アジア高齢社会デザイン協議会	福岡市主催ウェルビーイング・セミナー ②「アジアのケア技術交流会」 司会	原口主任研究員	30 人

日 程	依 頼 元	会合名・タイトル	講 師	参加者数
3 月 18 日 (火)	(株)情報通信総合研究所	メディア融合時代における通信産業研究会 九州における半導体関連産業の動向や今後の展望等	岡野常務理事	17 人
3 月 18 日 (火)	(一社)九州経済連合会	熊本・鹿児島合同地域委員会 事業活動を通じた社会課題解決～課題解決の担い手となる社会起業家・企業～	藤井次長	46 人
3 月 18 日 (火)	(公財)九州大学学術研究都市推進機構	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・沖縄 総会／公開シンポジウム 司会	能本次長	30 人
3 月 21 日 (金)	専門図書館協議会事務局	専門図書館協議会 教育プログラム第 3 段 専門図書館の広報～BIZCOLI の事例から	祭城部員	15 人
3 月 27 日 (木)	宮崎経済同友会	例会・講演会 東九州新幹線のポテンシャルと地域創生へのインパクト～九州新幹線開業 10 年の歴史を踏まえて	岡野常務理事	110 人
3 月 28 日 (金)	(国研)産業技術総合研究所	第 69 回 AI チップ設計拠点フォーラム 新生シリコンアイランド九州の進む道	岡野常務理事	98 人
3 月 29 日 (土)	九州大学ビジネススクール	九州大学ビジネススクール導入教育講義 経済学概論	片山部長	50 人

2. セミナー等への参加・企画協力（計 19 件）

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLI の会議室提供などで協力している。

協力実績一覧

日程・場所	主 催 者	会 合 名	備 考
6 月 21 日（金） 大名ガーデンシティ	(株)マイナビ	業務効率化を生成 AI で実現する	後援
7 月 8 日（月） 天神ビジネスセンタービル	(一社)九州ニュービジネス協議会	第 157 回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
7 月 10 日（水） 九州オープンイノベーションセンター	(一財)九州オープンイノベーションセンター	第 1 回 社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト	後援
8 月 1 日（木） 九州オープンイノベーションセンター	(一財)九州オープンイノベーションセンター	第 2 回 社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト	後援
9 月 12 日（木） 九州オープンイノベーションセンター	(一財)九州オープンイノベーションセンター	第 3 回 社会課題解決のためのソーシャルイノベーションプロジェクト	後援
9 月 20 日（金） ～22 日（日） 福岡国際センター	(一社)アートフェアアジア福岡	アートフェアアジア福岡 2024	後援
9 月 25 日（水） 福岡国際会議場	(公財)福岡アジア都市研究所	令和 6 年度 第 1 回都市セミナー 「持続可能な社会の実現に向けて～ウェルビーイングと公平性の視点から」	後援
9 月 27 日（金） ～28 日（土） アクロス福岡等	福岡市	第 34 回 福岡アジア文化賞市民フォーラム	後援
10 月 16 日（水） 電気ビル みらいホール	(一社)日本建設業連合会九州支部	九州の社会資本整備の重要性に関するシンポジウム	後援
10 月 29 日（火） 電気ビル本館 カンファレンス 8 号	福岡経済同友会 福岡県	第 12 回社会貢献セミナー	後援
11 月 11 日（月） 天神ビジネスセンタービル	(一社)九州ニュービジネス協議会	第 158 回ベンチャープラザ二月会 「発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
11 月 15 日（金） JR 九州ホール	(株)西日本新聞社	九州 DX カンファレンス 2024 「九州経済の最新潮流とデジタル活用」	後援
11 月 26 日（火） アクロス福岡 イベントホール	(株)西日本シティ銀行	KYUSYU∞ SUMMIT-九州クロスサミット-	後援
12 月 2 日（月） アクロス福岡 大会議室	(公財)福岡アジア都市研究所	令和 6 年度 第 2 回都市セミナー「アジアのリーダー都市福岡を目指して～SDGs 都市・福岡の役割と挑戦～」	後援
12 月 8 日（日） 九州大学医学部 百年講堂 大ホール	九州大学	令和 6 年度九州大学公開講座「ジェンダー・イノベーション～知識生産・技術開発のグローバル・スタンダード～」	後援

日程・場所	主 催 者	会 合 名	備 考
3月4日（火） TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカ イホール	(株)西日本新聞社	バックオフィスの DX 改革 in 福岡	後援
3月10日（月） 天神ビジネスセンタ ービル	(一社)九州ニュービジ ネス協議会	第159回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャ ンスの拡大！」	後援
3月14日（金） 西鉄グランドホテル	農林水産物の輸出促進 研究開発プラットフォ ーム@九州・沖縄	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォ ーム@九州・沖縄 「第4回公開シンポジウ ム」	後援
3月18日（火） アクロス福岡 大会議室	(公財)福岡アジア都市 研究所	令和6年度 第3回都市セミナー 「FUKUOKA NEXT～福岡のこれまでの成 長と未来設計～	後援

